

平成29年度 庄内支部 勉強会報告

日時：平成30年2月2日(金) 19:00～21:00

会場：鶴岡市立荘内病院

参加者63名

本年度最後の開催となる今回の庄内支部勉強会では、高橋俊章会長による本会活動への参加促進を目的とした説明を主題としながら、来年度に酒田市で開催される学術大会のプレ発表も行われました。

プレ発表では湯田川リハビリテーション病院の村田先生、鶴岡市立荘内病院の荒井先生のお2人より発表頂きました。2演題共に“整形疾患”を共通したテーマとしながら、急性期、回復期それぞれの病期での取り組みを垣間見る事が出来ましたし、村田先生の発表ではこれまでの庄内支部勉強会でも取り上げてきた認知症を呈する場合の課題等にも触れられており、個人的にも大変興味深い内容でした。発表後の質疑応答では先輩セラピストより積極的なアドバイスや質問の声がかかれ、学術大会前に貴重な振り返りの時間となったのではないのでしょうか。

続いて、高橋会長より本会の組織構成についての話を皮切りに、各支部と専門領域推進部の活動や連携についてご説明頂きました。地域包括ケアシステムの構築が急がれる中、私達理学療法士は確実に専門性を発揮して地域へ貢献、社会的にも認知を高めていく事が求められています。高橋会長の話にもあったように、個々の自己研鑽への意識を高め、本会の会員として一致団結していく事が大切であると思います。来年度の学術大会では「役割の再考」について皆さんで真剣に考え、山形県理学療法士会を盛り上げていきたいと考えています。

(庄内支部 矢島慎也)



